

# 早出幼稚園 平成28年度 学校評価結果

平成29年3月31日 早出幼稚園 学校関係者評価委員会

- 28年度当初に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した重点項目
  - 現代の子どもたちにとっての必要な運動課題を再検討し、小学校（学童期）への接続を考える。
  - スマートフォンの普及により子どもが安易に扱う様子も見られるためルールや安全対策も含めて保護者に伝える。
  - インフルエンザ対策

## 2. 取り組み

- 教員においては、園庭で裸足で過ごす日を設けるなど足の感覚を育てることで、からだのバランスを整えるなどの工夫が見られた。リズム運動では、側転の課題について、スモールステップで身に着けるように指導する。リズム運動の発表をとおして子どもの発達段階を保護者に伝えることができた。  
年長の担任においては、小学校までに育てたい力をわかりやすく子ども、保護者に伝える。
- インターネットの利用に関するマナーについて、通信等で知らせる。直接体や生活の中での自然観を大切にすることをテーマとした講演会を行い、好評であったが、スマートフォンの利用などについて直接的な講演を開催することができなかったので今後検討したい。
- インフルエンザ対策として、これまでのアルコールによる除菌からセウ水に変更。寒さも例年よりもやわらいでいたので、流行もなく過ごした。

## 3. 関係者評価委員会での意見

- 「すこやか kids」の報告により子どもの成長がよくわかるが、外遊びなど家庭環境によってはできないこともあるので、家庭での必要な運動は何か精査し伝える方法も考えてはどうだろうか。
- 親のSNSでのマナー研修が必要。
- 園環境として特に問題はないが、雨が降ったあとの雨水の溜まりが多いので排水を検討してはどうか？年少テラスのデッキが修繕が必要。

## 4. 今後取り組むべき課題と対策

課 題	対 策
(1) すこやか kids の報告の見方や利用のしかたを丁寧に保護者に伝え、個々の子どもに必要な課題を理解する。	すこやか kids によって運動課題を明らかにし、リズム運動のメニューなどに生かす。その過程を保護者に伝える。
(2) スマートフォンの普及により、子どもが安易に扱う様子も見られるためメディアとのかかわり方について保護者に伝える。	講演会などを通して、メディアとのかかわり方を伝える。特に夜寝る前の使用はやめるなど使用時間帯をつたえるなど、望ましい扱い方を伝える。
(3) 園庭の整備、年少テラスのデッキ修繕	整備、修繕を行うとともに、子どもと園庭のかかわりについて記録する。